

伊里前小学校の6年生が庄内町を訪問

9月29日(木)から9月30日(金)、伊里前小学校の6年生23人が、修学旅行で庄内町を訪れました。

庄内地域は稲刈りが始まってまだ間もない頃で、稲穂が黄金色に輝き、爽やかな風が吹く秋晴れの好天に恵まれました。

初めに、児童たちはカートソレイユ最上川に到着。全高80センチのカートから全身に響くエンジン音と体感スピードの迫力に、驚いたり喜

んだりしながら、はしゃいだ様子で順番にカート試乗を楽しみました。その後、庄内映画村や出羽三山神社五重塔を見学し、北月山荘に宿泊。2日

目は、風力発電施設や町内企業を見学後、立川小学校を訪問し、6年生の児童61人とゲームや運動をして交流しました。打ち解けた様子の子供たちは、収穫したての庄内米と山形の秋の風物詩のいも煮を食べながら賑やかに交流を深めました。庄内町を中心とした修学旅行を楽しんだ児童たちは、「楽しかった。また来たい。」と充実した笑顔で帰路につきました。



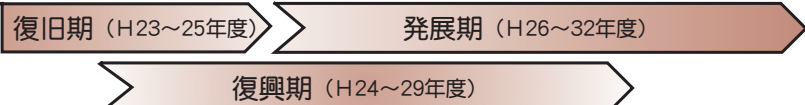
復興に向かっつて ③

震災復興計画(素案)を策定しました
平成23年9月末、震災復興計画の素案を策定しました。今月号から数回に分けて、この計画の概要をお知らせします。今月号は、震災復興計画(素案)は、町ホームページで公開しているほか、震災復興推進課、ベイサイドアリーナ、入谷公民館、歌津総合支所でも閲覧できるようにしています。

光り輝く南三陸町の再生

～復興への道筋～

- 基本理念 「自然・ひと・なりわいが紡ぐ 安らぎと賑わいのあるまち」への創造的復興
- 計画期間 平成23年度から平成32年度までの10年間



復旧期	復興期	発展期
<ul style="list-style-type: none"> ○タコ漁や秋サケ漁、ワカメ養殖等が始まり、仮設商店街が形成され、にぎわいが戻り始めます。 ○住まい等の高台移転に向けて、高台居住地の造成工事が始まり、地域での話し合いも本格化していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高台に家が建ち始め、新しい町並みが形成され、期間後半には、高台市街地の形成が最盛期を迎えます。 ○新興の企業が立地するなど、市街地の開発や雇用機会が徐々に広がります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高台への移転がほぼ完了します。 ○町のにぎわいの復興とともに、観光客等の町への来訪者が増え始めます。 ○復興の喜びや支援への感謝の気持ちを全国に向けて発信します。

問い合わせ 震災復興推進課 ☎46-1371

観光ネット 最前線 26

年内オープン! 南三陸町歌津伊里前福幸仮設商店街

震災から間もなく8カ月を迎え、地域の復興と共に各産業も復興に向けて歩み出しています。その中で、このたびは期待のオープンとなります「歌津伊里前福幸仮設商店街」の皆さんを紹介します。

■ナカノ電気商会
(電化製品、工事など)
皆さんには、この商店街を地域の憩いの場として利用してほしいと思います。気軽に立ち寄ってください。

■カットクラブチバ(理容)
地域の皆さんには、本当に長らくお待たせいたしました。震災前と変わらぬご愛顧をよろしくお願い致します。

■アスリートやまうち
(衣類その他)
地域の皆さんが集い、寛いで頂けるようなお店にしたいです。皆さん、ぜひお立ち寄りください。

■マルアラ及川商店
(水産加工品、食料品など)
復興に向け地域が一丸となって頑張っています。私たちも地元食材を活用して地域に貢献したいです。

■B・Jヤマウチ
(美容、ヘアエステ、着付け)
弱酸性美容法を取り入れたヘアエステで、老廃物を排出し体の中からきれいにしてリラックスしてもらいたいです。

■マルエー
(婦人洋品、復興応援グッズ、南三陸ロゴ入りジャンパー)
一日も早くこの地で再開できることを目標に頑張ってきたので、商店街のオープンに喜びを感じます。

■マルタケ大衆ストア
(食料品、青果、日用雑貨など)
これまでも地域の皆さんに支えられてきた商店街です。皆さんの要望にお応えできるように頑張ります。



問い合わせ 産業振興課商工観光振興係 ☎46-1378 一般社団法人南三陸町観光協会 ☎47-2550

夢大使 リレー通信 59



各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、歌津出身で、歌手として活躍中のまきのめぐみさんです。

夢大使 まきのめぐみさん (東京都)

希望

平成23年3月11日14時46分、この日のこの時間を境に、私の人生が大きく変わりました。私は、仙台でラジオのお仕事を終わらせ帰宅する途中に、この大きな地震に遭遇しました。もの凄い揺れに、立っている事ができなくて、地べたに座り込んでしまいました、ひとり茫然としてしまった事が、つい昨日の様になりました。そして、東北地方の太平洋沿岸に大津波が押し寄せ、南三陸町が壊滅的な被害を受けた事をラジオで知り、胸がはち切れそうになりました。町の人は無事だろうか？

家族や親戚は無事だろうか？命や人の存在の大切さに、改めて気付いた瞬間です。私が育った家、お父さんが眠っているお墓、そして、学生時代に遊んだ町は跡形も無くなってしまいました。現実を受け入れられない日々を過ごし、地震から半年以上過ぎましたが、南三陸町の町が元のようになるのには、まだまだ沢山の時間がかかると思います。ライブが終わったあと、イベントの主催者様やファンの皆様から、南三陸町への義援金をいただくなど、大勢の方々



第4回復興市にもかけつけてくれました

が南三陸町の復興に協力してください。私ができる事、みんなできてる事、人が、町が、一歩でも前に進むことができる様に、みんな協力して助け合っています。そして、こんな私ですが、私の唄で一瞬でも気持ちが穏やかになっていただけるとあれば、私も一生懸命に唄い続けたいと思います。最後に、ご家族、ご親族の尊い命をなくされた方々に、お見舞いを申し上げますとともに、犠牲となられた大勢の方々の冥福を心からお祈りいたします。